

ポストコロナに向けて ～再開と課題～



カンルンガン・サ・エルマ ガールズホームでのアートワークショップ

COVID-19の世界的パンデミックが始まって3年、混乱は徐々に収まりつつあり、教育活動も再開してきています。しかし、失業率が上昇する等、貧困層の人々へのダメージは深く、KPACが支援する各団体では、子どものみならずその家族への生活援助も行っています。今回は、ポストコロナに向けた各団体の活動を紹介します。

KPAC インフォメーションオフィス (フィリピン)

●コロナ後の活動再開

政府の決定を受け、KPACIOの幼児発達プログラム(ECPD)センターは、2022年9月に新学期を始め、2023年7月に終える予定です。また、家庭にて幼児教育をしようとする保護者十数人に向けてのワークショップを継続的に実施しました。市と連携した児童発達支援員対象の研修会や、大学生を中心とした若者に向けたセミナーも開催しました。



▲若者向けセミナーの様子

●青少年教育・発達支援プログラム (YEDSP)

COVID-19の流行後、学校が本格再開した初年度、

小学校から高等学校の290人の子どもたちの教育を支援しました。ミンダナオ島南部の先住民族の子どもたち75人も、学用品の支給や親子向けの学習会への参加などの教育支援を受けています。また、YEDSPは14人の大学生にも拡大されました。

●台風災害支援



▲救援物資の配布

2021年12月16日にフィリピンを襲った台風「ライ」の被災者を支援するため、保護者やボランティアたちと協力し、支援物資

の配布や、不安を抱く保護者向けに幼児教育のセミナーを行いました。

SRD コンコウキョウセンター (フィリピン)

●新学期の授業開始



▲SRD での授業風景

9月12日に新学期が始まりました。年少クラスは、オンライン授業等が組み込まれたブレンド型学習となっており、開校から数日は朝8時から午後0時30分まで対面式授業が行われました。子どもたちは体温チェックのために整列し、手を洗って消毒してから教室に入り、室内ではマスクを着用しています。現在、対面式とオンラインのクラスには120人の子どもたちが通っています。

●保護者を対象にした研修

保護者向けの対面式トレーニングを実施しており、10月22日にはポジティブ・ディシプリン（「肯

定的なしつけ」の意）についての研修がありました。このセミナーは、保護者の方々に、しつけは最も大変なことのひとつであること、しかし、子どもたちの世界観や自分自身や他人への接し方に長期的な影響を与えるため、最も重要なことのひとつでもあることを学んでもらうことを目的に行われました。



▲保護者向けトレーニングの様子

●学校における COVID-19 への対応

現在、公立学校に22名のKPAC奨学生が在籍しています。彼らはマスクを着用し、手指の消毒液を学校に持ち込む等、公立学校の保健規則に従って行動しています。学校で発熱者が出た場合、クラス全員を帰宅させ、学級閉鎖となります。7日後に登校し、診断書を提出することになっています。

カンルンガン・サ・エルマ (フィリピン)

●通常授業が再開

KPACが支援しているカンルンガン・サ・エルマのガールズホームでは、身体的・性的虐待や育児放棄などの理由で16人の子どもたちを保護しています（2022年12月現在）。入居者たちは、年齢に応じた家事を分担し、家庭生活に備えています。掃除や洗濯、1週間の献立を立てて買い物することなどを通して、清潔で責任をもった生活ができるよう訓練しています。

コロナワクチンの接種や歯科検診も実施されました。今年は施設外での活動も徐々に再開され、災害対策講座に参加したり、インターン実習生を受け入れたりしました。ポスターコンクールで受賞した子

どももいました。

学校はオンラインと対面授業の両方があり、スタッフの支援を受けて学習を進めています。登下校時の送迎が行われ、子どもたちは安全に学校に通っています。

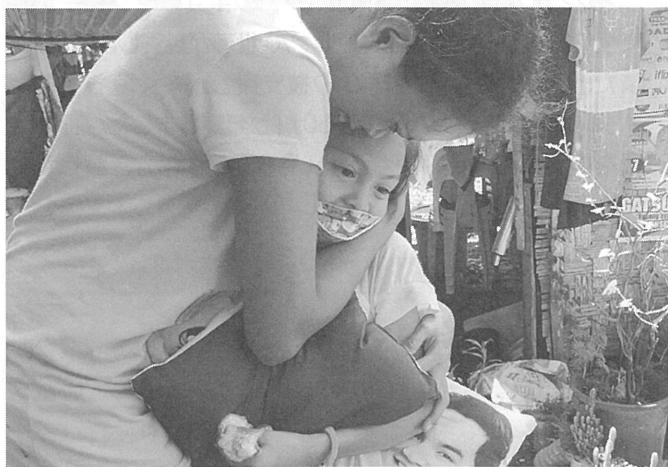


▲ポスターコンクール

●家族との面会も

COVID-19対策として控えていた家族との面会も再開し、離れて暮らす家族と2年ぶりに面会できた子どももいました。ほとんどの家庭は経済的な準備

ができておらず、子どもにとって安全でない環境で暮らしていますが、2022年は3人の子どもが家族との生活を再開しました。



▲再会する親子

感染症拡大の影響を受けている人々への食料支援も継続しています。また、路上で生活する子どもたちへの教育活動にも取り組んでいます。

●献身的な活動を表彰

常務取締役のソル・バルベロさんは、2022年のカルカット聖テレサ賞を受賞しました。この賞は、「最も貧しい人々」のための人道的活動に少なくとも25年間を無私無欲で捧げ、世界にインスピレーションを与える生きた模範となる人に与えられます。



▲受賞したソルさん

ドゥアン・プラティープ財団 (タイ)

●奨学生への経済的支援

5月17日、公立の小学校や中学校、高校で一斉に授業がスタートしました。COVID-19の蔓延による失業に加え、ロシアとウクライナの戦争など世界情勢のあおりを受けての物価高騰により、スラムの住民たちは大変厳しい暮らしを余儀なくされています。財団は、奨学生が必要な制服や教材を揃えられるように配慮し、諸



▲奨学金の授与

経費面の心配をせずに勉強に集中してもらおうよう心掛けています。

また、成長期の段階で栄養に欠ける子らには、補強食やミルクなどを提供してきました。

●国外での学びの再開

国内でのCOVID-19感染状況は落ち着きつつあり、日本への留学や技能実習生としての派遣、オーストラリアへの語学留学が再開されるなど、若者たちに国外での学びのチャンスが再び与えられました。

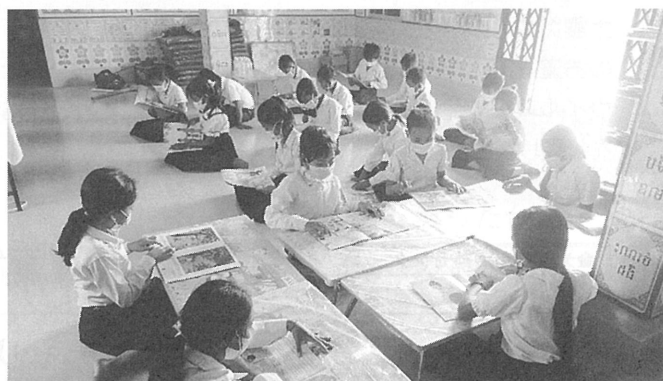
クメール平和の会 KPO (カンボジア)

●制限の緩和

カンボジアではCOVID-19による新たな感染者、死亡者は出ておらず、人混みでの感染対策は必要なものの、2022年10月以降、会議・祭り・結婚式などの集まりができるようになってきました。

クメール平和の会は、コンポンチュナン州およびプレイベン州の13の小学校に絵本の寄贈を行ない、17校に文房具を提供しました。また、散髪を5つの小学校で実施しました。

COVID-19パンデミックの影響で中断していた少額貸付事業は、2023年1月から2つの小学校で始



▲本を読む子どもたち

まっており、6月からはさらに多くの学校で再開できる見込みとなっています。

緊急救援事業のご報告

2021～2022年度は、KPACが支援する地域をはじめ各地で災害等が多発したため、度重なる緊急救援を実施しました。

台風22号支援

2021年12月16日、フィリピン南西部を襲った台風による被害支援のため、「金光新聞」及びWebページにて支援を呼びかけ、2022年3月31日、1,000,000円をKPACIOに寄託しました。

ウクライナ支援

2022年2月24日、ロシアがウクライナに侵攻しました。「金光新聞」及びWebページにて支援を呼びかけ、ウクライナの隣国ハンガリーにて避難者の支援活動を行うAMDA(岡山に本部を置くNGO)に、2022年12月までに2,198,101円を寄託しました。

SRD建物修繕

KPACが支援するSRDコンコウキョウセンターの建物が老朽化し、天井が剥がれ落ちたり雨漏りしたりしていたため、正会員を中心に支援を呼びかけ、6月24日、374,000円をSRDに送金しました。その後、追加で110,000円を収納しており、後日SRDへ送金予定です。

KPACIO及びSRD近隣での火災

2022年4月18日、SRDコンコウキョウセンターすぐ横のバラックで火災が発生し、70世帯が焼失しました。また、5月17日、KPACIOの被支援者が多く暮らすナボタス地区で起きた火災で、50軒が類焼しました。正会員を中心に支援を呼びかけ、8月9日、2件分合わせて931,641円をKPACIOに送金し、現地で配分して支援を行いました。

スモーキーマウンテン火災支援

2022年11月12日、スモーキーマウンテンにおいて発生した火災により、37世帯が被害を受け、1人が死亡、SRDコンコウキョウセンターに通う4人の子どもも被災しました。「金光新聞」及びWebページにて支援を呼びかけ、2023年1月13日、500,000円をSRDに寄託しました。

皆様の温かいご支援、まことにありがとうございました。事業としての支援はすべて終了いたしました。被災地域には、いまだ数多くの避難者や困窮者がいらっしゃいます。引き続きお祈り添えくださいますようお願い申し上げます。



Topics トピックス

RNN 東日本大震災慰霊祭

3月11日、KPACが参加する岡山県の宗教者ら有志による「人道援助宗教NGOネットワーク(RNN)」主催のRNN東日本大震災慰霊祭が、黒住教本部・神道山日拝所(岡山市北区)にて行われました。KPACからは、杉本理事長と高橋事務局長が参加し、杉本理事長が、東日本大震災やその他の災害、ロシアウクライナ戦争の犠牲者のお道立て、また、それぞれの災害の復興、新型コロナウイルス感染症の終息と、ロシアウクライナ戦争の終結を祈願しました。



金光教平和活動センター

検索

KPAC ホームページ
<http://www.konkokyo.or.jp/kpac/>

Facebook ページ
www.facebook.com/kpacgogo

＊一食をささげるチャリティー献金へのご協力を＊

金光教平和活動センターが支援する各団体は、コロナの影響でまだまだ厳しい状況にあります。子どもたちの教育の機会が失われることがないよう、いっそうのご協力をお願いいたします。

【郵便振替】 口座記号番号 01280-9-10799 加入者名 特定非営利活動法人 金光教平和活動センター